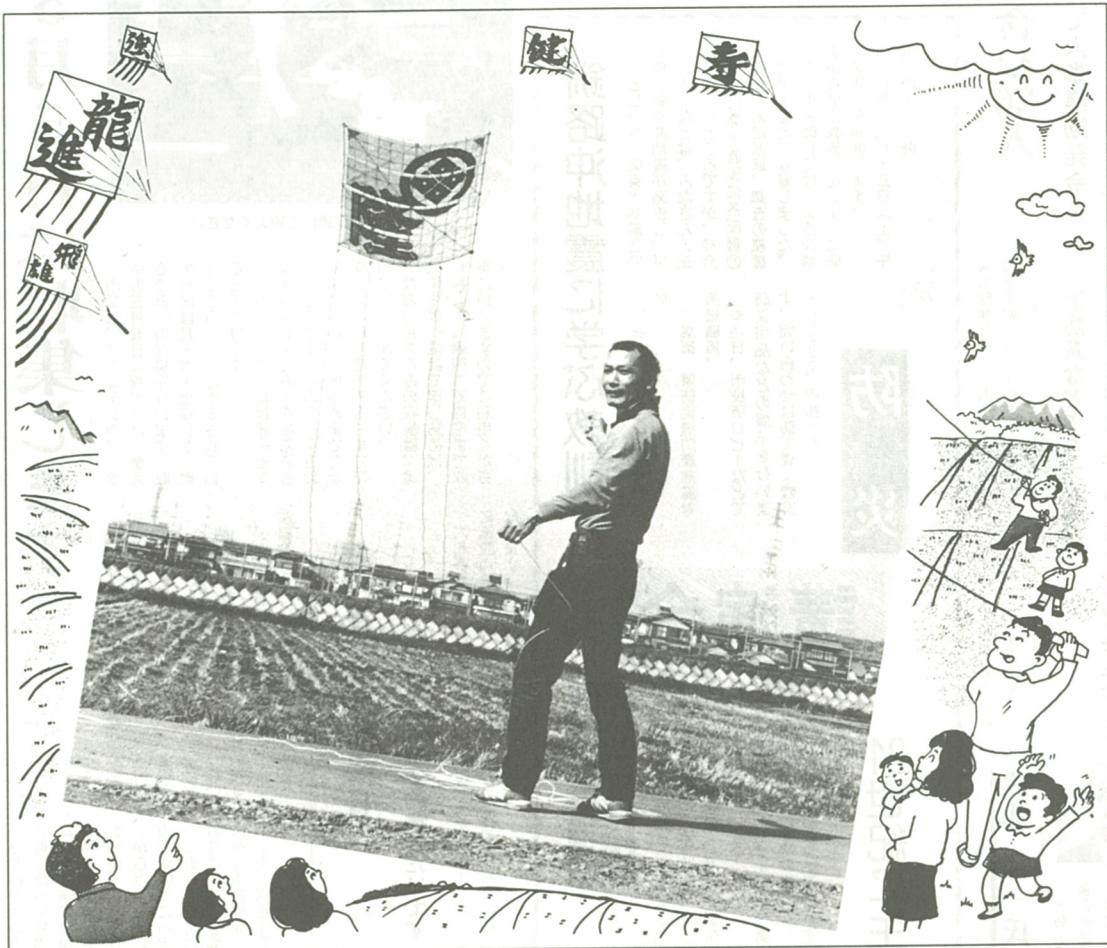


# 広報えひな

編集・発行  
海老名市役所広報広聴課  
〒243-04  
神奈川県海老名市勝瀬155  
☎ (0462) 31-2111



糸目の調整を綿密に行い(写真右)風を待ってたこを揚げる米山さん(写真上)

## 端午の節句祝い相模凧が舞う!

もうすぐ5月、この時期になると、初節句を祝って相模川河川敷や乾水期に入っている田んぼの上空で、よく相模凧(だこ)が揚げられています。今回は、長い伝統を持つ相模凧の概略と、4月29日に中野多目的広場で行われる「相模凧親子たこ揚げ大会」についてお知らせします。この機会に、相模凧の雄姿をご覧ください。



五月晴れの大空を彩る相模凧(だこ)の歴史は古く、平安時代(一三〇)から四百年ほど前から始まっています。最初は五穀豊穣祈願が主な目的でしたが、次第に子供や孫の成長を願って、五月五日の端午(たこ)の節句に揚げられるようになりました。

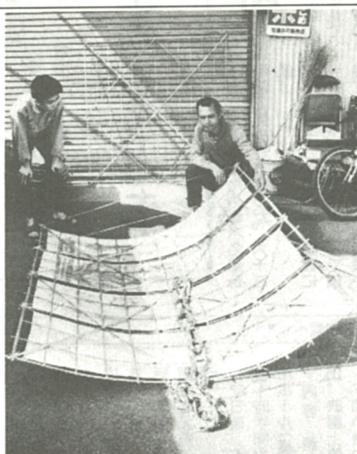
相模凧の形は正方形で、尻尾にわら縄を使い、竹骨にはる和紙には、初節句を迎える子供の名前や家紋などが書き込んであります。戦前は、節句の日に多くの相模凧が揚げられたそうです。

市辺では、一辺の長さが五間(約9m)もある座間市の大凧(だこ)が有名ですが、市内でも半間(約0.9m)から二間(約1.8m)の相模凧が揚げられたそうです。

このたこ揚げ大会は、四月十九日(雨天の場合は5月5日)、中野多目的広場(有馬高校バス停から歩く)で行います。問い合わせは社会教育課 内88。

4/29

## たこ揚げ大会も



何時間でも見飽きません  
米山 敏夫さん(東柏ヶ谷二丁目)

「祖父や父が昔からたこ作りが好きだったので、私も物心がついたときから作り続けています」  
米山敏夫さん(米穀業、50歳)は、相模凧(だこ)作りの名人の一人。「相模凧親子たこ揚げ大会では、たこ揚げの模範演技や審査役を何度も行っているため、「うちの孫の初節句に…」などと話しながら、慣れた手つきで一間だこを操る米山さんは、これからも長い歴史と伝統に培われた相模凧の素晴らしさを、伝え続けていくことでしょう。







市福社会館で演芸大会  
市老人クラブ連合会(廣瀬登  
喜雄会長、48団体)主催の「演  
芸大会」が、三月二十五日、市  
総合福社会館で行われ、約三百  
六十人が参加した。

この演芸大会は、各地区的老  
人クラブ会員相互の親睦と交  
流を深めようと、昭和五十七年  
から年に三回ずつ実施している  
としていた。



合唱も息がぴったり!

## 練習の成果を披露

市福社会館で演芸大会

生二百四十八人による「卒業制  
作展」がニチイ海老名店三階文  
化ホールで開かれた。この卒業制作展は、美術の授  
業時間に作成した作品の中から

優秀作品七十八点を展示したも

辺宿校長、生徒数74人の卒業  
生二百四十八人による「卒業制  
作展」がニチイ海老名店三階文  
化ホールで開かれた。この卒業制作展は、美術の授  
業時間に作成した作品の中から

優秀作品七十八点を展示したも

# フォトピックス

## 優秀作品78点を展示

柏中の卒業制作展

三月二十四日から二十八日ま  
での五日間 柏ヶ谷中学校(渡  
り)



全員がみごと指人形を完成!

## 指人形作りに挑戦

春の児童館まつり

市内の小学生を対象とした「春の児童館まつり」が三月二十九日、市中央公民館で開催され五十五人が指人形作りに参加しました。今日は子供たちに、手作り人形の作成と遊び方を通して、演技する喜びを体験してもらおうと企画したもの。当時は、五人の社会教育指導員から説明を受けたあと、手袋を使った指人形作りのミトン娘さん作り。

子供たちは、悪戯苦闘しながらも約二時間後には完成。指導員の「人形できたら…」の声に、全員が元気よく指人形をかさしていた。その後、出来上がった指人形を使って即興の人形劇などをを行い、楽しい春の一日を過ごしていた。

三月二十六日から三日間、県立伊勢原青年の家で、市内小学  
生を対象に、市ジユニアリーダー  
スクラブ(見上健一会長、会員39人)の養成研修会が開かれ  
た。

同研修会は、仲間作りと社会  
の問題についての議論などを行  
った。今回の研修会は、大加者からは「今回の研修を生かす」とい

ういう声も…。作品は、大切にして自分の部屋に飾ります」とい



来場者からは「すばらしい」の声も

## 野外炊事を体験

ジユニアリーダー研修会

三月二十六日から三日間、県立伊勢原青年の家で、市内小学  
生を対象に、市ジユニアリーダー  
スクラブ(見上健一会長、会員39人)の養成研修会が開かれ  
た。

同研修会は、仲間作りと社会  
の問題についての議論などを行  
った。今回の研修会は、大加者からは「今回の研修を生かす」とい



慣れない手つきで野外炊事に挑戦

の作品は、自然保護や社会風刺などを題材として、中学生らしき感性で表現したもののが多かった。卒業生からは、「卒業の良い記念になりました。作品は、大切にして自分の部屋に飾ります」という声も…。

会のリーダーとして活躍できる子供たちを育成するもの。

当日は、ジユニアリーダーの指導で、野外炊事などをを行い参

加者からは「今回の研修を生かす」として頑張ります」という声も聞かれた。

声も聞かれた。

参加を目的に、各地区の子ども

の地元の人が伝えているもので、そこに生まれ育った者が一番よく知っているし、その由来なども代々住んでいる人が一番正しく伝えていると言えるだろう。

谷戸川尻は天井川で道路よ

り一段と高く、従つてその土

手は更に高かつたので、こ

とに立つて今里まで一望だつた。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が、このとき百姓たちは、

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち

ようど三反は

ど檜のよう

なつていての

寺の坊さん

が命乞いに行つた

の耳に入り、土手を並んで名

主を待っていたのは一揆を受

くらんだ一味だろう、と追及

され、組頭の一人が陣屋へ連

された。

組頭のあつたこの組頭は、

「あれは三左待ちではなく

三反檜(注)でございます。

田んぼに突き出している谷戸

川尻が、土手を

足も含めてち